

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：毎週水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター TEL0475-73-3337 FAX73-4360
- 事務所：〒299-3251 大網白里町大網450-6 ユアサビル2階 TEL0475-70-0200
- 会長：矢部 慎一 幹事：星野 実
- 広報公共イメージ向上委員会 委員長 石田 英世



2020年1月8日(水)

通巻第930号

<http://www.oamirotary.com>
E-mail rc@oamirotary.com



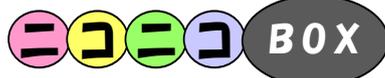
点 鐘 会長 矢部 慎一
唱 和 四つのテスト
ソング 奉仕の理想
会長挨拶 会長 矢部 慎一
幹事報告 幹事 星野 実
＜プログラム＞

①誕生祝

清宮建治会員、堀本孝雄会員
西岡毅会員、山岸健一会員
石田英世会員

②卓話

大網白里市出前講座 健康増進課
「あなたの心は健康ですか」



なし

例会日	12月18日	12月4日
会員数	29	29
出席	18	22
欠席	11	7
MU	0	1
免除	1	0
出席率	65.52	79.31

会長挨拶

矢部 慎一 会長



皆さんこんばんは。1年はあっという間で、もう忘年会シーズンになってしまいました。

今年を振り返りますと一番大きな変化は、年号が令和に変わったことだと思います。

5月から新年号に変わり、その後、行ったこと、起こったことはすべて令和初の…と言われました。

そんなわけで今夜は令和初の大網ロータリークラブの忘年会とすることになります。

それからもう1つは千葉県を襲った台風です。県内各地に甚大な被害をもたらしました。

私は今日仕事の関係で鋸南町に行って来ましたが、被害の大きさを目のあたりにして大変驚かされました。ほとんどの家の屋根はブルーシートでおおわれていましたし、壁や雨樋も傷んでいました。

又、カーポートや小屋も飛ばされていたり、窓サッシの上にベニヤが貼られていたりして、復旧までにはまだまだそうとう長い時間がかかると思われれます。一日も早く元の生活にもどれる様にお祈りしたいと思います。

今夜は今年一年あったことで、悪かったことは早く忘れる様に、又良かったことは今一度思い出して語り合おうではありませんか。そして来年の3日に行われます20周年式典を無事終了出来ることを願ってあいさつと致します。

忘年夜間移動例会

2019年12月18日(水) はせ川にて



大網 RC20 周年講演講師について

日時 令和2年3月15日(日) 14時
会場 サンライズ九十九里

講師 大津 克之助 様

テーマ 「新聞報道と地方自治」

勤務先 株式会社 千葉日報社

職名 代表取締役社長

最終学歴

中央大学経済学部国際経済学科

<主な経歴>

昭和53年 3月 千葉日報社入社

7月 編集局校閲部

60年 3月 編集局社会部

63年 7月 編集局船橋市局長

平成5年 4月 編集局報道部

11年 8月 編集局政治部

15年 8月 編集局政経部副部長

16年 5月

編集局千葉市政部長、論説委員

19年 2月 編集局社会部長論説委員

20年 5月 編集局次長兼政経部長、論説委員

22年 11月 編集局長

24年 7月 取締役編集局長

25年 7月 常務取締役編集局長
労務担当

26年 7月 常務取締役総務局長
党務担当

29年 7月 専務取締役(総務、営業担当) 総務局長、党務担当

30年 7月 代表取締役社長

(現在に至る)

* クラブよりお知らせ *

1/18(土) 古山先生による「斎藤四郎右衛門」の講演があります。於 町文化センター



四之宮会員より

野口先生の著書「敗戦国日本を慈愛と勇気で支えた人」の私の宣伝文が下記の内容にて「ロータリーの友」2月号「友愛の広場」で掲載されます。



『敗戦後の日本を慈悲と勇気で支えた人』
野口芳宣著／銀の鈴社(Tel.0467-61-1930)

恩人
大網 四之宮由己

1951(昭和26)年9月4〜8日、サンフランシスコ講和会議が開催され、戦勝50カ国が参加した中で、当時セイロン(現・スリランカ)の財務大臣だったジュニウス・リチャード・ジャヤワルダナ氏(1906〜1996)は、「日本に独立を許し、戦後賠償などを求めることをやめようではないか。日本は昔のようにアジアの兄、アジアの光になってほしい」と訴えました。「憎しみは憎しみをもってはやまず。ただ慈悲をもってのみやむ」とアッタの教えを説き、日本全権代表の吉田茂首相(当時)はこれに感銘を受けて涙を流しました。アメリカは深く考え、ソ連は署名を拒否、49カ国の調印によって、日本は占領統治から免れ、国際社会へ復帰することができました。

このように日本を擁護してくれた大恩あるジャヤワルダナ氏のことを、日本人はあまりに

も知りません。このような大事なことをなぜ学校で教えなかったのか不可思議です。これではジャヤワルダナ氏には申し訳なく思います。

吉田首相は、スリランカの恩義を決して忘れてはならないと日本政府に言い残し、これを受けた日本政府はスリランカに病院や国会議事堂を無償で建てています。また、ジャヤワルダナ氏は、戦後も皇室の他、日本仏教界と深く交流し、死後には左眼球の角膜を日本に献じてくださっています。

ジャヤワルダナ氏の功績をたたえる顕彰碑は、現在のところ日本国内では次の3カ所しかありません。

- ・東京都八王子市・天海山雲龍寺(1987年)
- ・神奈川県鎌倉市・高德院大仏殿(1991年)
- ・愛知県愛西市・明通寺(2016年)

当クラブはスリランカの子どもたちを支援する団体「コスモス奨学金」を有志で支援しております。同団体は経済的な理由で勉学に苦勞するスリランカの子どもの里親として、学用品や奨学金を送るなどの活動をしており、副代表の野口芳宣さんには当地区のIMで講演もしていただきました。

野口さんの著書『敗戦後の日本を慈悲と勇気で支えた人―スリランカのジャヤワルダナ大統領―』では氏の生涯が分かりやすく紹介されており、一人でも多くのロータリアンに読んでいただきたいと思えます。

なお、この本の売上金や講演料の一部は「コスモス奨学金」に充てられるとことです。

(第2790地区 千葉県 運送)